

## 第4学年 国語科学習指導案

児童 4年1組 男18名 女11名 計29名  
指導者 鎌田 慎

- 1 単元名 場面を比べて読もう  
教材名 「一つの花」 (光村図書 4年下)

### 学習指導要領 第3・4学年<読むこと>

- ・目 標：「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」
- ・主たる指導事項：「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」 <読(1)ウ>  
「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」 <読(1)オ>

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童はこれまで、4年上「三年とうげ」で場面によって主人公の心情が変化していくことを学び、3年下「ちいちゃんのかげおくり」では「場面の移り変わり」を考える学習をした。それを受け、4年上「三つのお願い」では、場面ごとに登場人物の気持ちを想像して音読する学習をしている。また、4年上「白いぼうし」では、登場人物の会話や行動から心情を想像する学習を行ってきた。これらの学習を通して、児童は物語の情景を味わい、豊かに想像しながら読み深めていく楽しさに気づき、自分の意見を他の友達と交流することで、更に読みを深めようとするようになってきている。しかし多くの児童がまだ感覚的な読みに頼り、文章に書かれた言葉を根拠に読み深めている児童はあまり多くはないのが実情である。

### (2) 教材について

本教材は、厳しい戦争下での生活においても、ゆみ子とその家族が人間にとって一番大切なものを忘れずにお互いを思いやり、いかに生きてきたかということが描かれている。父がわが子を思い、娘が父の願いを受けてたくましく育っていくという親子の愛が強く感じられる作品である。

場面の構成は、戦争中と戦後の二つに大きく分かれており、三つの場面から構成されている。戦争という時代の大きな移り変わりの中で、懸命に生きるゆみ子の家族の姿を通して、悲しみを乗り越えて生き続ける人間の強さと美しさが主題として描かれている。また、対比や比喻、倒置法、伏線、象徴など、多様な表現が見られ、読み取りを深めるための手がかりとしながら場面の様子を豊かに想像する学習に適した教材であると思われる。

### (3) 指導に当たって

本教材を指導するに当たっては、戦時中の状況やくらしの様子について、3年生で学習した「ちいちゃんのかげおくり」を思い出させたり、並行読書により他の戦争について書かれた図書を読んだりすることで理解を深めさせていく。また、読み深めていく段階では、「一つだけ」という繰り返し使われる言葉のもつ意味が場面によってどのように使われているかの違いを考えさせたり、父が手渡したコスモスに象徴されるものはなんであるかを考えさせたりしていく。このような学習活動によって自由のない、生きていくのが精いっぱい戦時中であっても、どのように生きていくかが大切であることや、娘の将来を心配する父や母の思いに気づかせていきたい。そして、学習の最終段階では、児童それぞれが読み取ったことをもとに、平和の大切さや、戦争のつらさ、家族の大切さ等を考えさせ、主人公ゆみ子や母親、戦地へ行った父親へあてて手紙を書く言語活動を行う。

## 3 指導目標

### 【国語への関心・意欲・態度】

- ・場面や登場人物の様子を想像しながら読もうとする。

【読むこと】

- ・ 場面の移り変わりを理解し、場面の様子や、父母の気持ちを想像しながら読むことができる。 <読(1)ウ>
- ・ 「一つの花」が象徴することについて自分の考えをもって読むことができる。 <読(1)ウ>

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ かぎとなる大事な言葉に着目し、作品全体との関わりを考えながら読むことができる。
- ・ 対比や比喩、倒置法などの表現の特徴に着目しながら作品を読むことができる

4 指導計画（10時間） 読む 10時間

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元名とリード文から学習に見通しをもつとともに本文を通読し感想を書く。</li> <li>・ 新出漢字や難語句の意味を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リード文で問いかけられていることを意識しながら感想を書いている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ちいちゃんのかげおくり」を想起し、「一つの花」との共通点と相違点を話し合うことで学習に関心を持ち、学習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二つの物語の共通点と相違点に気付いている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
第2次	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語の設定と場面の展開をとらえ、だいたいの内容を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語の設定と場面の展開をとらえ、大体的内容を把握している。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争中のゆみ子を取りまく状況を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争中の物質的に欠乏しているゆみ子を取り巻く状況を読み取っている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い高いをするお父さんのゆみ子への思いを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「一つだけ」という言葉の意味を考えながら、ゆみ子の将来を案じるお父さんの思いを読み取っている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦地に出向くお父さんの状況と心情を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆみ子の家族と周囲の様子を比べ戦争に行く父親と見送る母親とゆみ子の様子を読み取っている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
	7 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの花を渡した時のゆみ子に対する父親の気持ちを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの花に込められたゆみ子に対する父親の気持ちを読み取っている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦中と戦後の場面を対比させ、ゆみ子と母親のささやかな生活の様子を読み取り、ゆみ子や母親の気持ちを想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争から10年後のゆみ子の様子について想像を広めながら豊かに読み取っている。 &lt;読(1)ウ&gt;</li> </ul>
第3次	9 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「一つの花」で読み深めたことや心に残ったことをまとめ、登場人物への手紙の形で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの感想や、作者の思いについて手紙に書き、友だちの感想との違いに気付いている。 &lt;読(1)オ&gt;</li> </ul>

5 本時の指導

(1) 目標

一つの花を渡した時の、ゆみ子に対する父親の気持ちを読み取ることができる。

(2) 本時の指導に当たって

① 対話について

- ・ 「一つだけのお花、大事にするんだようー。」とだけ言い残して戦地に向かった父親は、まだほかにもゆみ子に言いたいことがあったのではないかな。もしもっと言葉をかけるとすれば、どのようなことを言ったのか、コスモスの花にどんな思いを込めたのかを考え対話することで、児童それぞれの考えを深め、一つの花に込められた父親の心情を読み取らせていきたい。

② 学び合いについて

- ・ 「一つだけの花」「コスモス」には父親のどのような思いがこめられているのかを「一つだけのおにぎり」と対比させたり、3の場面での父親の言葉を想起させたりすることで考えを深めさせていく。それをもとに、一輪のコスモスの花にこめられた父親のゆみ子に対する思いを想像させていきたい。また何も言わずに戦地にむかってしまった父親の気持ちを想像し、考えを交流させることで、友達との共通点や相違点に気付かせ、自分なりの読みを深めさせたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 活動(・) 主発問(○)	指導上の留意点(・)と評価(◎)
見通す	5分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦時中の状況、体の丈夫でない父親が戦争に行くことの意味、母の口癖「一つだけ」等について、今までの学習を振り返る。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お父さんは、どんな思いでゆみ子に一輪のコスモスの花をわたしたのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までのまとめを振り返り、両親の切ない気持ちを想起することで、別れの場面のゆみ子の無邪気な様子と対比させ、課題を考えるきっかけとしてきたい。</li> <li>・ 最後の別れとなる場面で父親が渡した一輪の花にこめられた思いを考えていくことで、父親の心情を読み取っていくのだという学習の見通しをもたせる。</li> </ul> <p>◎学習する内容を理解することができたか</p>
深める	30分	<p>3 学習場面を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題を解決するための見通しをもつ</li> </ul> <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1)お父さんがコスモスの花をとってきた行動から、心情を想像する</p> <p>(2)コスモスの花にこめられた父親の気持ちを読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コスモスの花が咲いていた様子についてとらえる。</li> <li>・ 「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」の文を視写し、コスモスの花にこめられた父親の思いについて考えたことを書きこむ。</li> <li>・ 書きこんだことをもとに隣同士で対話する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父親の思いがどの言葉にこめられているか、また、手渡されたコスモスの花はどんなところに咲いていたのかに気をつけながら音読する。</li> <li>・ 「ふいといなくなっていまいました。」 「あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。」 という表現から、出発まで時間がないがなんとかゆみ子を喜ばしてあげたい、最後のお別れに自分に何かできることはないかと考えた行動であったことをとらえさせるようにする。</li> <li>・ 「はしっぽ」「ごみ捨て場のような所」「わすれさられたように」などの言葉に気づかせ、コスモスの花が象徴するイメージをとらえさせるようにする。</li> <li>・ コスモスの花は、風に揺れ、細く弱く、はかなげに見えるが、どんな所にでも咲き、強く生きている花であることに気づかせる。また、一株ではなく一輪だけを手渡したのはなぜかを考えさせることで、父親の、コスモスの花に込められた「一つだけ」という思いや願いを考えるようにする。</li> <li>・ 3の場面の父親の言葉を想起させ、即物的な喜びよりも精神的な喜びに価値を置いていたことを思い起こさせる。</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">深める</p>	<p>&lt;対話&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T 「お父さんはコスモスの花にどんな思いをこめてゆみ子に手渡したのでしょうか。お父さんの行動や会話をてがかりにして、お父さんの気持ちを想像しながら、隣の人と対話してみましよう。」</p> <p>A わたしは、コスモスはごみ捨て場のようなところにも咲いている強い花だからゆみ子にもどんなところでも強く生きてほしいという思いをこめて手渡したのだと思いました。</p> <p>B Aさんは、コスモスの花にゆみ子に強く生きてほしいというお父さんの願いがこめられているというふうに読んだのですね。</p> <p>B ぼくは「大事にするんだよう。」という言葉から、おにぎりよりももっと大切なものがあることを知ってほしい。食べてしまえばなくなってしまうおにぎり違って、大事に育てれば増えていくコスモスの花に美しいものを大切に育てていく気持ちをもってほしいという願いをこめたと思います。</p> <p>A Bさんは、おにぎりとおコスモスの花をくらべて考えたのですね。コスモスの花にこめられたお父さんの思いが分かりました。</p> </div> <p>(3)対話したことをもとに全体で交流する ○コスモスの花にはお父さんのどんな思いがこめられていたのでしょうか？</p> <p>(4)何も言わず行ってしまった父親の心情を想像する ○何も言わずに、汽車に乗って行ってしまったお父さんはどんなことを考えながら一つの花をみつめていたのでしょうか。</p> <p>5 課題のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「一つの花」ーコスモスは、つらいことがあっても負けずに強く生きてほしいというお父さんの願いがこめられたもの。最後のお別れの時に、ゆみ子に伝えたかったお父さんの最後のメッセージ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コスモスの花が象徴するもの、父親の願いを想像させ、二度と会えない別れの場面になぜ、コスモスの花を手渡したのかについて考えたことを交流させながら、考えを深めさせていく。</li> <li>・ 対話で気がついたことがあったら、それも付け加えて発表するよう促す。</li> <li>・ なぜ、父親はゆみ子ではなく、一つの花を見つめながら戦地へと向かったのか、なぜ何も言わなかったのかを考えることで、コスモスの花に込められた父親の思いの深さや、戦争の悲しさに気づかせるようにする。</li> </ul> <p>◎別れの場面の父親の心情を想像することができたか。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。 ・ 本時の学習の感想を書き、発表する。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>

< 具体の評価規準と支援 >

- A: 「たった一つだけだからこそ大切なものがある。美しいものを大切にすることを忘れず、弱々しく見えても懸命に生きるこの花のように、強くたくましく生きてほしい。」という父親の思いを読み取り、たった一つだけしかない大切なものを奪ってしまう戦争の悲しさや愚かさにも気づいている。
- B: 「コスモスの花のように、どんな所でもたくましく生きてほしい。そして、いつか食べ物のような現実的なものだけでなく美しいものを大切に思うような世の中になって平和に生きていてほしい。」という娘の将来を心配する父親の思いを読み取っている。
- C 児への支援: コスモスの花はどんなことを象徴しているのかを、一つだけのおにぎりと対比させたり、コスモスの花がどんなところにどのように咲いていたかを考えさせたりすることで、父親がこめた思いに気づかせるよう支援する。

(4) 板書計画

<p>一つの花 今西 祐行</p> <p>お父さんは、どんな思いでゆみ子に一輪のコスモスの花をわたしたのだろう。</p>	<p>一輪のコスモスの花</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ プラットフォームのはしっぱ</li><li>・ ごみすて場のような所</li><li>・ わすれられたようにさいていた</li></ul>	<p>「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ もう、これしかあげられるものがない。</li><li>・ 世の中には食べ物以外にも大事なものがある。</li><li>・ この花のように、強く生きてほしい。</li></ul>	<p>挿 絵</p> <p>お父さんはそれを見てにっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 泣きやんでくれてよかった。</li><li>・ これが最後のお別れになるかもしれない。</li><li>・ お母さんと二人で強く生きてくれ。</li></ul>	<p>まとめ</p>	<p>「一つの花」— コスモスは、つらいことがあっても負けずに強く生きてほしいというお父さんの願いがこめられたもの。最後のお別れの時に、ゆみ子に伝えたかったお父さんの最後のメッセージ。</p>
--	--	---	--	--	------------	--